



人間ドックを受診された方には提携している店舗で利用できるチケットをお渡ししています。  
 今回はその中で福岡和白病院の1階にあるつばき食堂を取材しました。店内は落ち着いた雰囲気です。各種定食からドリンク類まで豊富なメニューを取り揃えていました。  
 若い方からご年配の方までおいしく召し上がっていただけるメニューとなっております。

**人気NO.1** 「熟成ステーキ定食」(ボリュームたっぷり)

メニューの中で人気No.1の「熟成ステーキ定食(鉄板)」はお店こだわりのステーキソースとジューシーな熟成肉がよく合います。あつあつの鉄板にのってくるので最後までおいしく頂けます!食べごたえのあるボリュームたっぷりの定食です。

サラダ/味噌汁/香の物/ご飯/918kcal



「和白定食」(ヘルシーメニュー)

人気メニューの中の和白定食です。メインはチキン南蛮でその他、鯛の刺身や小鉢、サラダもついておりとても贅沢な定食です。また、サイズもちょうどよくヘルシーなので女性に人気のメニューですが、男性の方も満足できるメニューとなっております。

揚げ豆腐と白身魚の五目あんかけ/小さなチキン南蛮/鯛のごま和え/今日の小鉢  
 ご飯/味噌汁/香の物/548kcal

当院内科医師 藤井が和白定食を試食しました。品数も多く、ヘルシーで大変おいしかったです。



「洋食定食」(女性に人気メニュー)

手ごねハンバーグに自家製デミグラスソースとぶりぶりのエビフライがついて、ボリュームたっぷりです。洋食定食は女性に人気のメニューだそうです!

サラダ/味噌汁/ご飯/846kcal



★全定食にはドリンクがついています。 ホットコーヒー/アイスコーヒー/アイ스티/ミルクティー/コーラ/オレンジ



つばき食堂では、大腸検査を行う方へ専用の検査食もご用意しております。また、その他メニュー等につきましてはスタッフまでお尋ねください。感染対策もしっかり行っておりますので安心してご来店ください。

福岡市東区和白丘2-2-75 福岡和白病院1F 営業時間 11:00~15:00 店休日【日・祝日】  
 ※現在、面会制限があり時間短縮で営業を行っております。

わじろびより

和白 和白

創刊号 vol.1  
 2020.12

- 目次・特集・コラムなど
- 院長挨拶・会長挨拶
  - 医局紹介
  - 内視鏡AI
  - 新型コロナウイルス感染症予防対策
  - ランチ紹介



「和白干潟とミヤコドリ」 絵:看護師 吉村 幸代さん

社会医療法人財団 池友会  
**福岡和白総合健診クリニック**



〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘2丁目11-17  
 休診日/日曜・祝祭日・年末年始  
 FAX/092-608-5504  
 電話受付/10:00~16:00  
<https://www.fw-kenshin.net>  
**TEL 092-608-0138**



~健康は愛する人と大切な家族とのつながり~

社会医療法人財団 池友会  
**福岡和白総合健診クリニック**

# 院長挨拶

笑顔と真心でより質の高い  
総合健診をめざす

福岡和白総合健診クリニック院長

## 山永 義之

やまなが よしゆき

### Profile

1946年 大分県宇佐市生まれ  
1975年 九州大学医学部卒業  
1987年 福岡和白病院 内科部長  
1993年 福岡和白病院 副院長  
2006年 福岡和白総合健診クリニック 院長



福岡和白総合健診クリニック広報誌“和白日和(わじろびより)”創刊に際しご挨拶申し上げます。

当初は2020年東京オリンピックの開催に合わせ、今年夏に発刊の予定でしたが、新型コロナウイルス流行とその対策のため準備が進まず、今般2020年12月創刊となりました。

当クリニックは1987年7月開院の福岡和白病院“健診部”として出発しました。2005年4月福岡和白病院新築移転に伴い、“福岡和白総合健診クリニック”として独立し、人間ドック、PETドック、特定健診、企業健診等予防医学のための専門施設となり現在に至っております。

福岡県はもとより福岡県以外の九州各県、四国、関西、関東より年間50,000人の皆様にご利用いただいています。

当クリニックは“笑顔と真心でより質の高い総合健診をめざす”を基本理念としています。

現在日本では、死亡率減少を目的とした“対策型検診”(市町村が行う住民検診に該当)と受診者の皆様のご要望にお応えする“任意型検診”(いわゆる人間ドック)がありますが、検診は予防医療であり、“より質の高い検診”のため精度の高い検査が必要です。当クリニックでは、高度医療機器を駆使してそれに応えています。

2020年の新型コロナウイルス流行による緊急事態宣言に合わせて今年4～5月休診を余儀なくされまし

たが、診療再開後は、新型コロナウイルスチェックシートの作成、利用、受診受付時の検温、マスクの着用、手洗いの励行、ソーシャルディスタンスの厳守や換気等、医師、看護師、職員スタッフ一丸となりコロナウイルス対策に努めてきました。

新型コロナウイルスの流行により生活のスタイルが変化し現在に至っていますが、がん検診受診率の低下による“がん”の発見の遅れが危惧されます。

健康診断の二大目的は①がんの早期発見②生活習慣病の予防、改善です。

受診者の皆様の健康を守るのが我々の使命です。これからも職員一同力を合わせて頑張る所存です。受診者の皆様のご愛顧、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。



カマチグループ会長

## 蒲池 真澄

かまち ますみ

### Profile

社会医療法人財団池友会特別顧問理事、カマチグループ会長。1940年4月14日、福岡県八女郡黒木町生まれ。蒲池家は江戸中期から医師で会長が9代目。九州大学医学部卒。虎ノ門病院、九大大学院医学研究科、下関市立中央病院、福岡大学医学部を経て1974年、下関市で救急指定の下関カマチ病院を開院し独立、1981年北九州市小倉北区に小文字病院、1987年福岡和白病院を開設し院長に、2003年からは会長に就任。

1974年、19床でスタートした下関カマチ病院から46年。カマチグループは27施設(病院・クリニック)5,233床、及び学校法人を運営しております。基本の救急救命の池友会イズムを保ちつつ、首都圏にも急性期病院・回復期リハビリテーション病院を展開し、

予防医学・急性期・回復期・在宅医療に至るまで幅広く尽力を注いでいます。高齢化社会の医療に携わる者としてスタッフ一同、最善の努力を続けます。

### 福岡和白総合健診クリニック施設概要

昭和62年	7月	和白病院開院(186床) 病院内健診室として健診業務を行う
平成16年	4月	福岡和白PET画像診断クリニック 開院(PETドック開始)
平成17年	4月	医療法人社団 博修会 福岡和白総合健診クリニック 開院 福岡和白病院 新病院移転にともない、旧病院を健診専門施設へ改装
平成18年	7月 8月	巡回健診開始 在宅療養支援診療所として、訪問診療開始
平成20年	4月	特定健康診査・特定保健指導開始
平成23年	5月 11月	人間ドック学会 人間ドック健診施設機能評価 認定施設 医療法人社団博修会より福岡和白総合健診クリニックを譲り受け、社会医療法人財団 池友会 福岡和白総合健診クリニックを開設
平成24年	1月	耳鼻咽喉科標榜及び診療開始
平成26年	11月	LANPEX電子カルテシステム導入
平成28年	4月	大腸カプセル内視鏡検査導入
平成29年	5月	胃胸部併用車 導入(検診車4台)
平成31年	1月	全体空調・LED省エネ改修工事

### 学会認定

- ・ 人間ドック学会 優良人間ドック・健診施設
- ・ 人間ドック学会 人間ドック健診施設機能評価 認定施設
- ・ 全日本病院協会 日帰り人間ドック実施施設
- ・ 日本総合健診医学会 優良総合健診施設
- ・ 健康評価施設検査機構 認定施設
- ・ 日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診施設画像認定
- ・ 政府管掌指定 生活習慣病予防健診施設認定

### 受診者数

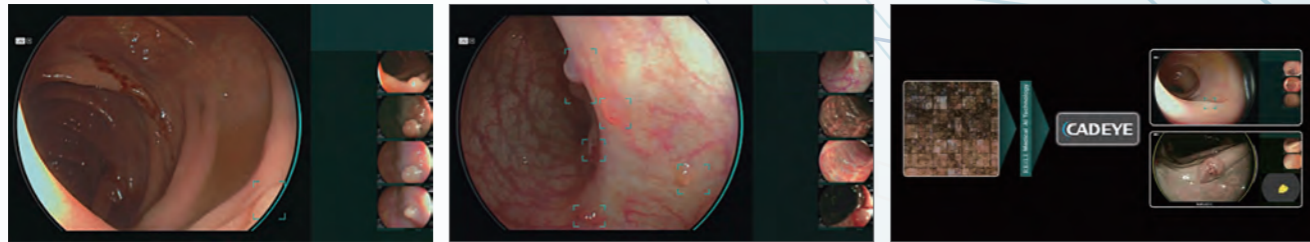
※2019年度実績 約49,387人/年間  
(施設内 約33,658人、施設外 約15,729人)

内視鏡の新AI技術が開発されました。 **キャドアイ**

# CAD EYE

大腸ポリープや病変の「拾い上げ」と「鑑別診断」を国内初導入の内視鏡AIが支援します。  
 エキスパートクラスの内視鏡医の頭脳を持つAIを搭載し、診断をサポートします。  
 欧州・国内から数多の画像データを収集、ディープラーニングさせることで、AIによる診断支援が可能になりました。  
 AI支援により、大腸ポリープや病変の見落としが減少し、大腸がんの抑制、早期発見・治療に貢献します。

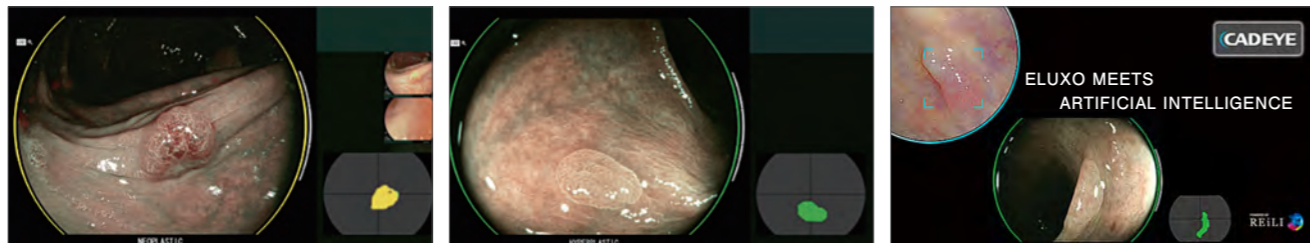
\* 検出支援モード ポリープや病変を普段の内視鏡画像の中から拾い上げます。



白:観察(WLI)

LCI(LinkedColorImaging)観察

\* 鑑別支援モード 腫瘍or非腫瘍をリアルタイムで鑑別します。



黄:腫瘍(NEO)

緑:非腫瘍(HYPER)

## 当院が日本で初めて導入

### 内視鏡診断支援機能CAD EYE(キャドアイ)

大腸がんは、がんの中でも罹患患者数第1位、死亡者数第2位と、高い割合を占めています。初期のがんであれば内視鏡手術や外科手術で切除できる可能性が高く、早期発見が重要とされています。  
 小さな病変は発見が難しく、発見率を向上させることが課題となっています。



“こんな取り組みを行っています”

# 新型コロナウイルス感染症予防対策



## 入口での感染リスク対策の流れ

### 1 手指消毒、マスク着用の確認



### 2 体温測定



### 3 酸素濃度の測定



### 4 コロナ感染予防チェックシートの確認



- ☑ 2、3、4で問題なければ受付へご案内
- ☑ 1項目でも該当項目があれば個室へご案内 医師の診察を行い、問題なければ受付へ



▲ソーシャルディスタンス実施中

感染症対策実施医療機関認定書(日本医師会)



## その他取り組み

- 常時又は1時間毎の換気
- 2時間毎の環境整備
- 受付終了後、各検査終了後、診察終了後は消毒の実施
- 更衣室ロッカーは間隔を空けて使用
- 診察室の布カーテンを撤去し、ビニールカーテンの設置



クリーンパーテーションの導入